

## 令和8年度学校経営計画書

### ○本校のミッション(使命、存在意義)

地域との連携等による幅広い知識と教養を培う複数学科併設校として、生徒の多様な進路希望に応えるために、特色ある科目選択を設定するとともに、地域と連携した課題解決に取り組む教育活動を通して、得た資質・能力を発揮して、地域社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

### ○学校内外の環境分析

- 1 生徒は素朴で真面目であり、探究活動、部活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組んでいる。いずれの活動においても地域と連携した取組が盛んに行われている。
- 2 地域密着型の探究活動「セトリー」は、県内外から高く評価されている本校の特色である。近年、社会が大きく変化する中で生徒の進路実現を支援するために、変化への対応力と探究心の醸成が求められる。そのため、探究活動を組織的に進化させ、より一層推進する必要がある。
- 3 保護者、同窓会、地域ともに本校への期待感は強く、支援体制も充実している。学校運営協議会(コミュニティ・スクール)などから寄せられる地域の要望に応え、地域と連携・協働した学習活動を積極的に展開している。
- 4 2学科とも全県学区になったことや普通科美術重視モデルの人気もあり、現在は安定して募集倍率が1倍を超える状況にある。しかし、私立高校の授業料無償化や県立高校の再編整備など外部環境が変化することから、本校の特色を鮮明にして、その魅力を発信していく必要がある。

### ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

- 1 中学生に支持され、地域や保護者から信頼される魅力ある学校づくり
- 2 知・徳・体の基本を身に付け、学習を中心とした学校生活に主体的に取り組むことで自分自身の将来を切り拓いていくことができる生徒の育成
- 3 個々の生徒に真摯に向き合い、最適な教育や支援を協働して行える指導体制の強化

### ○令和8年度の学校経営目標・計画

- 1 **探究心の醸成と基礎学力の向上**・・・自ら学びに向かおうとする探究心を醸成し、基礎学力の向上を図る。  
【具体的な方策】
  - ・生徒の学習意欲、興味・関心を高められるような授業デザインを工夫することで、学びに対する意識の向上を図り、自ら学ぶ態度と課題を発見・解決する力の育成を目指す。
  - ・多様な学習スタイルや進路希望に対応できるよう、AIやICTの効果的活用、及び探究的な学びの研究と実践を行い、魅力ある授業づくりをすすめる。
- 2 **実践を通じた協働性の育成**・・・探究活動や地域連携教育での他者との関わる体験を通じて、協働する力を育成する。  
【具体的な方策】
  - ・探究活動(課題研究、セトリー)や各教科の授業などを通して、多様な価値観に触れる機会を作り、物事を多面的に見る力、他者の意見を受容する力、自分の意見を論理的に伝える力を育成する。
  - ・インターンシップやボランティア、地域イベントへの参加など、生徒が地域で学習・活動できる場を提供し、コミュニケーション力や自己有用感と共に社会の一員である自覚を養う。
- 3 **生徒支援の充実と魅力的な学校づくりの推進**・・・生徒に寄り添った積極的な生徒支援と情報発信を推進する。  
【具体的方策】
  - ・教育相談や進路相談などを通して、個々の生徒が主体的に目標を設定し、それぞれの課題に向き合えるよう支援する。
  - ・進路実現と将来のキャリアにつながるように、生徒が個々の力を発揮し、校内外で活躍できる機会を提供する。
  - ・生徒の意見や提案に耳を傾け、部活動・生徒会活動や学校行事等のより一層の活性化・充実を図る。
  - ・積極的な情報発信を校内外に向けて行うことで、生徒・保護者の満足度を高めるとともに、中学生に選ばれる学校づくりを目指す。

#### ★探究活動とは

生徒自身が実社会や実生活の中から問いを見出し、解決に向けて情報を収集・分析し、他者と協働しながらまとめ・表現する一連のプロセス。(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→次の課題)